すこやか

6月号

令和７年(2025 年)６月２５日
札幌市立美しが丘小学校
保護者向け保健だより

６月も終わりが近付き、夏の暑さも本格的になってきました。強く照り付ける太陽の日差しに負けず、外で元気に遊んでいる子どもたち。しかし、暑さと４、５月の疲れでけがにつながってしまう様子も見られます。夏休みまで元気に乗り越えるため、疲れている様子が見られた際は、休養を取るようお願いします。また、熱中症の季節になりました。保健室では水分補給、頭や首元、手のひらを冷やすなどの対応をしています。水筒持参や暑さ対策のご協力、よろしくお願いいたします。

歯科検診が終わりました

学校歯科検診を終え、所見が見られたお子さんに、先日結果をお配りしました。
早めの受診をおすすめいたします。また、学校での検診はスクリーニングのため、
受診した際の結果と異なる場合がございます。あらかじめご了承ください。
受診された場合は、結果お知らせの必要部分を切り取り、学校へ提出してください。

噛み合わせのお話

歯並びやかみ合わせは、「食べ物を取り込み、食べる」「表情をつくり、話す」「運動を支え、体のバランスをとる」機能等に直接かかわっており、食生活のみではなく生活の質全体に関係しています。

学校歯科健康診断において、歯並びや咬みあわせで学校歯科医が診断する症状には、「反対咬合」「上顎前突」「歯数異常」「開咬」などがあります。このような症状がある場合、子どもの成長発育段階により、噛む・話す・呼吸する・体のバランスをとるなどの発達に影響が見られることがあり、学校での学習に影響がでることもあります。

「反対咬合」

上下の歯のかみ合わせが前後逆になる。

「上顎前突」

上の歯が前方に出ている。

これらは、成長発育不全（上顎発育不全・下顎発育不全）を起こしやすくなります。また、状況によっては、歯周病やむし歯のみでなく、嚥下（飲み込み）の時に舌を突き出す癖や口呼吸に関連することもあります。

「開咬」

噛み合わせたときに、上下の前歯の間に隙間ができること。

発音（構音）に問題が起き、サ行やタ行が発音しにくくなることがあります。原因にもよりますが、早い段階で訓練を行うことにより、改善がみられる場合があります。

「歯数異常」

本来生えてくるべき歯の数と異なる本数の歯が生えている。

先天性欠損や埋伏歯、過剰歯がある場合が多く、手術による治療が必要な場合、その後に強制処置が必要なこともあります。

これらの症状については、お子さんの発達段階や個々の症状の程度により、必要となる対応が異なるため、まずは、かかりつけの歯科医師や地域の歯科医師に相談してください。

※この噛み合わせのお話は、公益財団法人日本学校歯科医会作成の資料を参考にして作成しています。